

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

平成二十八年度公民館事業の基本方針と重点事業

平成二十八年度の新潟市公民館事業の基本方針と重点事業が決まりましたので、概要をお知らせします。

【基本方針】

- (1) 学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化
地域とつながり、学びを通して地域課題・社会的課題やニーズに迅速に対応しながら、地域の絆づくりとコミュニティの形成・活性化に努めます。
- (2) 学・社・民の融合による地域教育力の向上
公民館は、学・社・民の相互の連携や協力により、教育目標を共有化し、それぞれの役割の中で豊かな人間性を培い、地域教育力の向上を支援します。
- (3) 市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実
子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成、高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びに対する場の提供と支援に努めます。また市民団体等との連携を推進します。

【重点事業】

- 基本方針に従い、重点的に次の事業分野に取り組みます。
- (1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業
 - (2) 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業
 - (3) 家庭の教育力の向上を支援する事業
 - (4) 青少年の生きる力を育む事業
 - (5) 高齢者の学習や社会参加を支援する事業
 - (6) 現代的課題を探り、解決を支援する事業
- それぞれの項目に対する小須戸地区公民館の具体的な事業名と事業目的などは、四月号でお知らせする予定です。



ひまわりママクラブ
(幼児期家庭教育学級)
(6月開催)



語り継ぐ 小須戸の文化
～入門編～
(11月開催)



ツリークライミング
& プロジェクト
アドベンチャー体験
(8月開催)



すよここと一言

旅立ちの年

もうすぐ僕は、東京の大学へ進学し、新しい生活が始まります。これまでの十八年間、この小須戸で暮らし、成長してきました。矢代田小学校のグラウンドや親水公園で友達とサッカーに明け暮れたことが一番の思い出です。新



吉田涼介さん
(舟戸)

たな地で一人暮らしをするとは、とても不安です。すぐに我が家に戻ってきたくなり、地元で友達に会いたくなったりするかもしれません。しかし、送り出してくれる家

族や応援してくれる仲間のためにも弱音を吐かず頑張りま

大学のキャリアデザイン学部では、働き方や生き方、暮らし方、自立すること、他者を支えることを学びます。立派な大人になって、また小須戸に帰ってきます。そして、支えてくれる人たちに恩返しをしたいと思います。

小須戸まちづくりセンターに来てみませんか!

暖かな春はすぐそこまで来ています。家にばかり居ないで、小須戸まちづくりセンターへ遊びに来てみませんか。ジャズやクラシックなどの音楽が流れる中、1階ロビーではロビー展やパンの販売(毎週火曜日)を行っています。皆様のご来館をお待ちしています。

3月のロビー展は「パソコンアート」です。小須戸文化協会の主催でひと月毎に展示内容が変わります。

なお、館報4月号以来年度の展示内容を掲載する予定です。(※写真は2月の「陶芸」です)



パンの販売は原則、毎週火曜日に「ワークセンターほほえみ」が、小須戸コミ協の協力のもと行っています。売り上げは、センターの子どもたちの工賃に反映されます。



昔ながらの料理教室

「ちまきづくり」

1月23日老人デイサービスセンター小須戸で「昔ながらの料理教室」が開催されました。

この教室は、おばあちゃんの知恵袋を参考に、昔ながらの料理を色々作ってみようというもので、今回で3回目となります。



当日は一般参加者10名がボランティアの方と一緒に和室で「ちまきづくり」に挑戦。

エプロン、三角巾姿の参加者は、3人のおばあちゃんの指導のもと笑顔で「ちまき」を作っていました。



春山登山のお知らせ

木々も芽吹き始める頃です。高立山(276m)へ一緒に登ってみませんか。
日時: 4月3日(日) AM9:00
集合場所: 大沢公園(天ヶ沢)
持ち物: 飲み物、タオル
送迎あり: 旧小須戸地区公民館前 AM8:30発
※雨天の場合は中止
里山登山の会 代表 高山 38-4681

ひな「雛の町家」オープン

中野邸美術館(金津)の分館「雛の町家」が2月20日開館しました。建物は本町2丁目にあるかつて老舗呉服店であった割野屋で、築100年以上の趣ある小須戸きっての町屋のひとつです。

名前のとおり、「吊るし雛(つるしびな)」を中心に、貴重な雛人形や雛飾りが展示されており、町屋の雰囲気によく調和しています。あなたも優雅なひと時を過ごしてみませんか。

【入館料】

大人 500円
小・中・高校生 300円



今年もやります！ 親水公園クリーン作戦

皆さんの参加をお願いします！

実施日：平成28年4月17日(日)
集合時間：午前6時50分
活動時間：午前7時～8時30分
集合場所：信濃川親水緑地公園
主催：小須戸コミュニティ協議会



いきがい やりがい きっかけづくり 仲間づくり

いきいきフェスティバル開催

2月20日小須戸まちづくりセンターで「いきいきフェスティバル」が開催されました。フェスティバルの主催は小須戸コミュニティ協議会で、何か始めたいけれどキッカケがない、誰に聞いたら良いか分からないという人を対象に、ここに来てやりたいことを見つけて欲しいというのが開催趣旨となっています。

このため、ギター演奏や少林寺拳法など参加団体によるステージパフォーマンスやスリッパ卓球、しゅんこう和紙のちぎり絵などの体験コーナーが設けられたほか、NAMARAの金子ボボさんによる「影絵なぞなぞ」のステージショーなど楽しいイベントや、更には100円コーヒーのほっとカフェもあり大成功のイベントとなりました。

また、来場者プレゼントの「うららこすど」特製笹だんごは、当初の300名分から400名分に増やされましたが、それでも足りないくらいの大変な賑わいとなりました。



NAMARA 金子ボボさんのステージショー



参加団体の体験コーナーの様子(3階ホール)

小須戸中学校吹奏学部 スプリングコンサート

spring concert

「楽器の音で伝えあうこと、聴いている人に気持ちをお届けすること」を目指して、22名で頑張っています。

ぜひお越しください ♪♪

☆日時：平成28年3月26日(土)

午後1時30分 開場

午後2時 開演

☆会場：小須戸中学校 体育館

☆演奏曲：ヴィントン広場、アイーダ、2015 ヒットメドレー ほか

新刊案内

小須戸地区図書室

【一般書】

・人魚の眠る家(東野圭吾)

・房総の列車が停まった日(西村京太郎)

・ジョン・マン 5 立志編(山本一力)

・蛮政の秋(堂場瞬一)

・優しい言葉 パンとスープとネコ日和 (群ようこ)

・坂の途中の家(角田光代)

・新・御宿かわせみ お伊勢まいり(平岩弓枝)

・陽気なギャングは三つ数えろ(伊坂幸太郎)

・当確師(真山仁)

・はだれ雪(葉室麟)

・体が硬い人のための関節が柔らかくなる

・すごい古代生物 ようこそ、

・市販薬は成分表示だけ見ればよい

・薬の選び方

・クックパッドダイエット 厳選！やせるレシピ

【児童書】

・へんてこもりにいこうよ(高楼方子)

・ジョジョのパンやさん(岸田裕子)

・海辺の王国(ロバート・ウエストール)

・小さなスプーンおぼさん

・動物と話せる少女リリアーネスベシヤル3

・星の林に月の船 声で楽しむ和歌・俳句

・ママがおぼけになっちゃった!(のぶみ)

・もうぬげない(ヨシタケシンスケ)

・おじよらぼん

・(はせがわせいこ)文さいとうとしゆき/絵

・あーそーぼ(やぎゆうまちこ)

ほか多数

文芸欄

俳句

山の端に昇る満月冴返る
冬銀河はるか心のペダル踏む
冬うらら名曲ながし塵芥車
つつましき暮し久しや花ハッ手
冬籠るほぐすからだの骨の音
遠き子の無事祈りたる冬銀河
吹雪く夜や絵付けこけしの泣きぼくろ
齋場の空は重たし名残り雪

吉澤文子
中野太浪
佐久間久子
丸山紀子
間野えり
本多玲子
風間幸子
熊倉ひろむ

川柳

相傘に恋のドラマの幕が開く
晴れ姿燃えるドラマの予感する
ホスピスへリスタートする第二幕
溜飲が下がる印籠見て安堵

会田修
保科志枝
能登としお
増井都留

短歌

春匂う風頬に受け七十路も
小きき残り火微かに燃ゆる
床に入り眠れぬ夜に短歌詠む
五七七七言の葉遊び
すずなりの雀待たせる雪の庭
御馳走するよとパンを刻みて
予報ではまだまだ並ぶ雪達磨
庭でふきのとう今朝見つけたり
松明けてお供えこわしあられにす
祖母手伝ひし昔懐し

久保みね子
玲泉
こみけ
阿達よしい
高橋キヨ

シリーズ 「今、子どもたちは」 (222)

ひまわりクラブの子どもたち

放課後児童クラブ、通称ひまわりクラブは、労働等により保護者が昼間家庭にいない児童に生活や遊びの場を提供する施設です。ひまわりクラブで預かる子どもたちは、保護者の方にお迎えに来るまでの間、様々な表情を見せてくれます。わがままを言ったり、いたずらをしたりする子どもたちを見るにつけ、大人びて見えてもやはり寂しいのだなという気持ちになることがあります。

活を送る上でのルールや他人を思いやる優しさなど、複数の学年の子どもたちが一緒に生活をするひまわりクラブだからこそ、多くのことを学ぶ場面があると私は考えます。子どもたちができる限りさみしさを感ぜず楽しくお迎えを待つことができるよう、そして心の発達に少しでも寄り添えるよう、これからも全力で支援して参りたいと考えております。

矢代田 佐藤 由美
ひまわりクラブ



お詫びと訂正

2月15日号文芸欄に掲載しました俳句「松過ぎの大正琴の稽古はや」の作者「風間えり」さんは誤りで、正しくは「間野えり」さんです。お詫びして訂正いたします。

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)住所、氏名(ペンネーム可)電話番号を明記し3月23日(水)までに小須戸地区公民館へ。